

2 農業・商業教育の今後の方向性について

(1) これからの専門教育の方向性について

■ 宮城県産業教育審議会

「震災からの復興に向けた今後の専門学科・専門高校の在り方について(答申)」(H24.3)

— 職業教育の充実 —

- 『**将来のスペシャリストの育成**』を目指す観点から、各専門分野の『**基礎・基本の確実な定着**』を図る必要がある。
- 震災復興や将来の地域産業の担い手となる人材の育成を図る観点から、地域の産業や社会のニーズを把握し、地域の企業や関係団体等と連携した実践的な教育の充実が必要であり、これまで以上に**地域の産業現場での長期の実習**や課題解決等に取り組むことなど、『**地域の教育力を生かした取組の推進**』が重要となる。
- 国際競争が激化している現代社会においては、国際的な感覚や視野の醸成に努めるとともに、外国語によるコミュニケーション能力の育成も図るなど、『**グローバル化への対応**』を進めていくことが必要となる。
- 職業教育を充実させていくためには、**上級学校に進学**する生徒への対応のほか、基本的な学習内容の定着を図るための**学び直しの機会**を確保することも重要となる。
- 今後の専門教育のさらなる発展のため、継続的な教育内容の改善、地域との連携や積極的な情報発信などにより、専門高校に対する地域の理解を深めていくことが重要である。

(2) 宮城県の農業教育の現状と今後の方向性

■ 高等学校学習指導要領における農業科の分野

- ① 農業経営と食品産業
- ② バイオテクノロジー
- ③ 環境創造と素材生産
- ④ ヒューマンサービス
- ⑤ 各分野に共通（農業と環境 課題研究 総合実習 農業情報処理）

■ 宮城県産業教育審議会

「震災からの復興に向けた今後の専門学科・専門高校の在り方について(答申)」(H24.3)

I 本県の農業の現状

河川の流域に広がる肥沃な土壌に恵まれ、「ひとめぼれ」や「ササニシキ」などの銘柄米の主産地であり、さらに肉用牛の飼育頭数は全国で7位(平成27年2月1日現在 農林水産省「畜産統計」)にランクされるなど、質の高い豊かな農産物の生産県となっている一方で、県内の農業就業人口の減少や高齢化、耕作放棄地率の増加などの傾向にある。

宮城県震災復興計画では、「魅力ある農業・農村の再興」として、農地の集約や経営の大規模化、作目転換等を通じた農業産出額の向上、**6次産業化などのアグリビジネスの促進**など、**競争力のある農業振興の推進**が急務とされている。

II 本県の農業教育の現状

将来の地域社会を担う人材の育成を大きな目標に掲げ、2校(農業高校, 加美農業高校)で展開されている寮生活を通じた農業学習をはじめとして、県内のそれぞれの地域において、学校農場を活用した交流学习、周辺環境の美化活動など、地域農業や生徒の実態に対応した農業教育の実践に務めている。また、「食」「資源」「環境」「地域」をキーワードに、持続可能な循環型社会の実現に向けて取り組んでいる。

一方、米価の低迷、産地間競争の強化、地域経済の低迷、国際貿易問題等の農業を取り巻く厳しい状況や高校生を採用できる規模の農業法人が少ないことなどから、農業関連分野への就職が少ない状況になっている。

III 今後の農業教育の方向性

「魅力ある農業の再興」に向けて、新たな視点に立って実践する農業人を育成していくことが求められる。

- 生産から加工, 流通, 消費にいたる**6次産業化**への取組
- **マーケティングの手法**やITを活用した**創造的な農業経営**を実践する人材の育成
- 環境に配慮した**安全・安心な環境保全米**の栽培や**有機栽培**などの取組
- 地域の農家での**現場実習**を通じた**就農意識**の醸成
- 大学, 研究機関や農業関連団体などと**連携**した取組の実践

(3)宮城県の商業教育の現状と今後の方向性

■ 高等学校学習指導要領における商業科の分野

- ① マーケティング分野
- ② ビジネス経済分野
- ③ 会計分野
- ④ ビジネス情報分野
- ⑤ 各分野に共通 (ビジネス基礎 課題研究 総合実習 ビジネス実務)

■ 宮城県高等学校商業教育研究会校長会

「将業力を育む魅力ある商業教育を目指して」(H23.11)

I 本県の商業の現状

富県戦略による県内製造業の集積の促進により、自動車産業やエレクトロニクス産業などの製造業の集積が進み、周辺に物流など商業関連企業の集積も進んでいる。

宮城の将来ビジョンでは、「富県宮城の実現」として、育成・誘致による県内製造業の集積促進や観光資源と知的資産を活用した商業・サービス産業の強化などに取り組んでいる。

II 本県の商業教育の現状

時代・経済活動の流れを的確に把握し、経済社会のニーズに応える資質と能力を備えた人材の育成に努め、経済社会を支える有為な人材を多数輩出している。地域の経営者の育成はもとより、産業の発展や高度化する事務職や販売職を中心とした求人増加への対応、さらには高度情報化社会やサービス産業の増大など社会のニーズに適切に対応するとともに、上級学校への進学など生徒の多様な進路への対応も積極的に行っている。

III 今後の商業教育の方向性

- 将業力(将来の職業人として活躍できる力)の育成
基礎・基本として「基本的生活習慣」、「勤労観、職業観」、「商業の専門的知識・技能」を身に付け、3つの能力(コミュニケーション能力・マネジメント能力・プロデュース能力)と3つの精神(チャレンジ精神・遵法精神・郷土愛)を育み、総合的に応用する能力と感性を育成する。
- 深化した勤労観と職業観の育成
起業家教育、就業体験、地域産業連携の実習、地域ボランティアなどの学習
- 就職・進学ができる学校づくりの推進
実社会の即戦力となるための教育と、将来の目指す分野を極めるための上級学校へ接続する教育の推進
- 商業高校の連携の強化
- 教員研修の推進

(4) 先進事例紹介

■先進事例① 徳島県立吉野川高等学校

1 概要

- ・阿波農業高校と鴨島商業高校の再編統合により平成24年度に開校。
- ・商業教育、農業教育を継承するとともに食の安全・安心の観点からの教育を加え、商業科・農業科併設のメリットを活かし、農・商が連携した教育を行う。

2 特色ある教育

① 地域に根ざした両校教育の伝統を継承し、融合・発展させた多様な教育

- ・農業体験から調理、店舗経営まで、総合的に学習できる**食ビジネス科**を新しく設置
- ・生徒の適性、興味・関心、進路希望などに応じ、学科の枠を越えて幅広く学習できる**総合選択制**を導入
- ・高度な資格取得や専門性を活かした**就職・大学進学**等にも対応した教育

② 地域と連携し、地域の活性化に資する実践的な教育

- ・商工会議所、商工会、商店街、JA、農業大学校、篤農家等、**地域の教育資源**を活用した実践的な教育
- ・地域の特性を活かした**新商品の開発、販売**など、地域と連携した**起業家教育**の実施

③ 地域の自然や文化と触れ合う体験的な教育や、食の安全・安心の観点からの教育

- ・環境に配慮した安全で安心な有機農法、健康な食生活、地域の食材の活用方法などの体験的な教育
- ・園芸作物や愛玩動物との触れ合いを通じた癒し効果と、その活用方法などの体験的な教育

3 学科構成

商業科	農業科
会計ビジネス科 情報ビジネス科 食ビジネス科・・・※	農業科学科 生物活用科

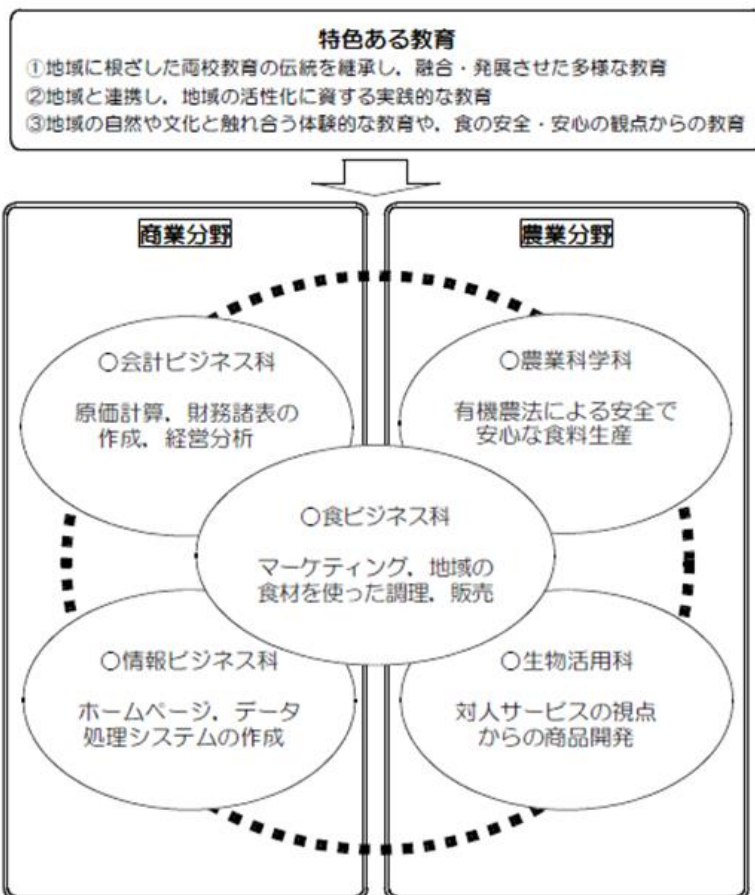
※食ビジネス科

- ・野菜・果樹の栽培，地域食材を使った調理・製菓など，**食材調達から調理，商品開発，店舗経営**までを学習。
- ・**マーケティング分野**を重点的に学習。
- ・自然食レストラン経営，食品販売などの食ビジネス従事者の育成や商業系大学などへの**進学**を目指す。
- ・吉野川高校版八菜弁当製造・販売などの実習。

平成27年6月19日オープン

『スクールカフェ吉野川』

『農産物販売所アグリ吉野川』



■先進事例② 山形県立村山産業高等学校

1 概要・基本理念

- ・村山農業高校と東根工業高校の再編統合により平成26年度に開校。
- ・基礎・基本の知識・技術をしっかり身に付けた上で、生産から加工、流通、販売を通じて付加価値を高めていく総合産業化への対応など、社会の変化や産業の動向に応じた教育の充実を図る。
- ・困難な課題にも意欲的に粘り強く取り組み解決する力や、国際的なコミュニケーション能力を身に付け、地域や国際社会で活躍できる、創造的で自立した人材の育成を目指す。
- ・社会で自立し活躍できる人材の育成のため、地域産業等との結びつきを重視する。

2 目指す学校像

① 複数の学科が連携し、グローバルな視点に立った先進的な産業教育を展開する高校

- ・農業、工業、商業が連携した教育を推進し、専門の学習を実践的に活用していく力を育成する。
- ・農産物の輸出、企業の海外進出、観光の振興など、社会経済のグローバル化に対応できる人材育成の要請に応える。

② 産業・社会の変化を取り入れた教育活動を展開し、一人ひとりの進路希望が実現できる高校

- ・総合選択制を導入し、生産、加工、流通を総合的に学ぶことができる教育を展開する。

③ 専門性を活かした環境保全活動やボランティア活動に積極的に取り組む高校

- ・地域と連携した、生命や環境に関する実験・実習、生涯学習講座の開設など、地域と学校の双方の学びを実現する。

④ 充実した特別活動(生徒会活動、部活動等)を推進し、主体性に富んだ学校文化を創造する高校

3 学科構成

農業科	工業科	商業科
農業経営科 農業環境科	機械科 電子情報科	流通ビジネス科

4 校舎等（村山農業高校現有地内に建設）

産業教育振興の観点から、農業科、工業科、商業科に関する実習等を行う「産振校舎」を建設。普通教室や特別教室は、既存校舎を改修。

